

インターネット金融商品仲介における株式等をお申し込みの際は、次の点にご注意ください。

- ⚠ インターネット金融商品仲介における取扱商品は預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。また、当行が元本を保証するものではありません。
- ⚠ インターネット金融商品仲介で取り扱う有価証券等は、金利・為替・株式相場等の変動や、有価証券の発行者の業務または財産の状況の変化等により価格が変動し、損失が生じるおそれがあります。
- ⚠ お取引に際しては、カブドットコム証券が定める手数料等がかかります。手数料は商品・銘柄・取引金額・取引方法・取引チャネル等により異なり多岐にわたるため、具体的な金額または計算方法を記載することができません。
- ⚠ 各商品の手数料等の情報の詳細については、カブドットコム証券のホームページの「手数料」にてご確認ください。☞ [手数料\(カブドットコム証券\)](#)
- ⚠ お取引に際しては、契約締結前交付書面、目論見書または約款等の内容を必ずご確認くださいのうえ、投資判断はご自身でされるようお願い申し上げます。
- ⚠ 各商品のリスクについては、カブドットコム証券のホームページの「勧誘方針」にてご確認ください。☞ [勧誘方針\(カブドットコム証券\)](#)

- 金融商品仲介において、当行はカブドットコム証券への証券口座開設のお申し込みおよびカブドットコム証券との証券取引に関する勧誘を行います。
- 当行はカブドットコム証券とは別法人であり、金融商品仲介のご利用にあたっては、カブドットコム証券の証券口座の開設が必要です（金融商品仲介の口座開設をお申し込みいただくと、お取引口座はカブドットコム証券に開設されます）。
- 証券口座開設後の株式売買等のお取引については、すべてお客さまとカブドットコム証券とのお取引になります。
- 当行にはカブドットコム証券とお客さまとの契約締結に関する代理権はありません。したがって、カブドットコム証券とお客さまとの間の契約の締結権はありません。
- 当行において金融商品仲介のお取引をされるか否かが、お客さまと当行の預金、融資等他のお取引に影響を与えることはありません。また、当行での預金、融資等のお取引内容が金融商品仲介取引に影響を与えることはありません。
- 当行が登録金融機関としてご案内する金融商品仲介の商品やサービスは、カブドットコム証券によるものであり、当行が提供するものではありません。
- ご購入いただいた有価証券等はカブドットコム証券に開設された口座でお預かりのうえ、カブドットコム証券の資産とは分別して保管されますので、カブドットコム証券が破たんした際にもカブドットコム証券の整理・処分等に流用されることはなく、原則として全額保全されます。万一、一部不足額が生じた場合等全額の返還ができないケースが発生した場合でも、投資者保護基金により、おひとりあたり 1,000 万円まで補償されます。
- 原則として、20 歳以上のお客さまを対象とさせていただきます。

※当行本支店窓口では、カブドットコム証券の証券口座開設およびお取引は受付しておりません。また、カブドットコム証券を委託金融商品取引業者とする金融商品仲介と三菱UFJモルガン・スタンレー証券・三菱UFJモルガン・スタンレーPB証券を委託金融商品取引業者とする金融商品仲介とは、取扱商品・手数料・サービスが異なります。

※証券口座開設後のカブドットコム証券の商品・サービスについては、「カブドットコム証券お客様サポートセンター」までお問い合わせください。

<カブドットコム証券お客様サポートセンター>

0120-390-390（オペレーター／平日 8:00～17:00、自動音声応答／24 時間）

平成 19 年 11 月 14 日

各 位

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ  
株式会社三菱東京 UFJ 銀行  
カブドットコム証券株式会社

## 株式会社三菱東京 UFJ 銀行とカブドットコム証券株式会社との 業務・資本提携のさらなる強化について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（取締役社長 <sup>くろやなぎ のぶお</sup> 畔柳 信雄、以下MUFG）の子会社である株式会社三菱東京UFJ銀行（頭取 畔柳 信雄）とカブドットコム証券株式会社（代表執行役社長 <sup>さいとう まさかつ</sup> 齋藤 正勝）は、本年 3 月に合意した業務・資本提携関係をさらに強化することについて合意しました。来春に向けて、三菱東京UFJ銀行とカブドットコム証券の連携施策を順次開始し、お客さまの利便性向上を図ってまいります。

### 1. 業務・資本提携強化の理由

個人のお客さまにおける「貯蓄から投資へ」の大きな流れと、インターネットの急速な普及を背景に、本年 3 月、三菱東京 UFJ 銀行とカブドットコム証券は、両社の間でこれまでに構築してきた業務・資本提携関係を強化することについて合意しました。かかる合意に基づく三菱東京 UFJ 銀行によるカブドットコム証券に対する公開買付けおよび本年 6 月に開催されたカブドットコム証券の定時株主総会における取締役選任の結果、カブドットコム証券は MUFG の連結子会社となりました。

業務面においても、平成 17 年 7 月に開始した三菱東京 UFJ 銀行によるインターネット証券仲介（金融商品仲介）では、これまでに約 3 万人のお客さまにご契約いただいております。本年 4 月にはカブドットコム証券による銀行代理業の開始、さらに同年 9 月には三菱 UFJ 証券によるカブドットコム証券の「kabu.comPTS」への参加、同年 11 月にはカブドットコム証券の証券口座から三菱東京 UFJ 銀行のカブドットコム支店の預金口座への「当日出金」の受付期限の大幅延長を実現するなど、カブドットコム証券の株式取引チャンネルとしての重要性に着目した一層の連携強化を進めてまいりました。

しかしながら、オンライン専門証券は、投資信託をはじめ株式以外の各種の金融取引チャンネルとしても、その存在感を急速に高めています。また、金融商品取引法の施行に伴い、お客さま保護の態勢整備や公正・適切な金融商品取引遂行に対する社会的要請も急速に高まっています。

このような外部環境の急速な変化を踏まえ、三菱東京 UFJ 銀行とカブドットコム証券は、資本関係をさらに強固にすることによって、コンプライアンスや内部管理態勢においてもグループ内での連携を強化し、またインターネットを活用した資産運用ニーズへの対応を中心として、グループのシナジー拡大を図ることが、MUFG グループのお客さまへのサービスの向上および個人金融資産運用業務の飛躍的成長ならびに両社の企業価値の向上に繋がるとの認識を共有するに至りました。

## 2. 資本関係強化の内容

三菱東京 UFJ 銀行とカブドットコム証券は、今後ますます高まるオンライン証券の重要性・将来性と、グループ一体となったコンプライアンス・内部管理態勢の一層の充実の必要性といった環境の変化を踏まえ、資本面においても MUFG グループ全体でカブドットコム証券の総株主の議決権の過半数を確保する方針について合意いたしました。

具体的には、三菱東京 UFJ 銀行が、カブドットコム証券の普通株式を 100,000 株取得し、MUFG グループ全体での議決権比率を現在の 40.78%から 50%超まで引き上げます。

なお、三菱東京 UFJ 銀行は、カブドットコム証券への出資比率引き上げのために同社の株式について公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）を行うことを本日開催の取締役会にて決議しており、カブドットコム証券においても、本公開買付けについて賛同表明を行うことを本日開催の取締役会にて決議しています。

また、三菱東京 UFJ 銀行は、本公開買付けに先立ち、本日、三菱 UFJ 信託銀行株式会社、MUFG、三菱 UFJ 投信株式会社、三菱 UFJ ニコス株式会社の MUFG グループ各社が保有するカブドットコム証券の株式を、相対取引によって取得します。本公開買付けが成立すると、三菱東京 UFJ 銀行の議決権比率は 40%以上となり、カブドットコム証券は、三菱東京 UFJ 銀行の連結子会社となる予定です。

（ご参考）議決権比率の推移

	平成19年3月の 公開買付け前	平成19年 11月14日現在	グループ内 相対取引後	本公開買付け 成立後(予定)
三菱東京UFJ銀行	16.40%	26.23%	30.09%	40.45%
三菱UFJ証券	10.62%	10.69%	10.69%	10.69%
三菱UFJ信託銀行	1.42%	1.43%	-	-
MUFG	1.03%	1.04%	-	-
三菱UFJ投信	0.93%	0.93%	-	-
三菱UFJニコス	0.46%	0.47%	-	-
MUFGグループ合計	30.86%	40.78%	40.78%	51.13%

注）議決権比率は各時点における総議決権数を元に、小数点以下第3位を四捨五入しています。  
グループ内相対取引は、本日付で株式売買契約を締結し、11月20日に決済を予定しています。

## 3. 業務提携強化の内容

三菱東京 UFJ 銀行を始めとする MUFG グループ各社とカブドットコム証券は、今回の資本関係強化を機に、以下の内容を中心に業務上の協力範囲を拡大・深化し、お客さま満足度の向上と各社の企業価値の向上に努めてまいります。なお、業務上の協力範囲の拡大についての検討を MUFG グループ各社とカブドットコム証券では継続的に行い、決定したもののから順次、お知らせしてまいります。

### (1) 金融商品仲介業を始めとする証券取引の強化

#### ① インターネットを通じた投資信託取引ニーズへの対応

インターネットを通じて、簡単で便利に、投資信託での資産運用を行いたいというお客さまのご要望に定めるため、カブドットコム証券の投資信託のサービスをより多くのお客さまにご利用いただけるようにしてまいります。その一環として、まず、カブドットコム証券が取り扱う ETF（上場投資信託）をより多くのお客さまにご利用頂けるように、各種キャンペーン等を検討・準備してまいります。

② 金融商品仲介業務の提携先拡大

MUFG グループ各社のネットワークを活用し、カブドットコム証券の金融商品仲介業務の提携先の拡大を図ってまいります。すでに、カブドットコム証券は来春の実現に向けて地方銀行等との金融商品仲介業務提携の準備を進めており、今後ますます金融商品仲介ネットワークを拡大してまいります。

(2) ポイントサービスによる銀行代理業の強化

三菱東京 UFJ 銀行のスーパーIC カードのクレジットカード機能のご利用額に応じて蓄積したポイント（三菱東京 UFJ ポイント）を使って、お客さまがカブドットコム証券との取引においても、さまざまなメリットを受け取れるように準備してまいります。

以 上